



2026 年 8 月 4 日

各 位

上場会社名 株式会社ジェリービーンズグループ
(東証グロース・コード 3070)

本社所在地 東京都中央区勝どき三丁目 13 番 1 号

代 表 者 代表取締役社長 宮 崎 明

問 合 せ 先 取締役 I R 広報室長 林 光

電 話 番 号 (03) 4570-6139

(URL <https://www.jelly-beans-group.co.jp/>)

AI カメラを活用したスポーツ映像 DX サービス「STADIUM AI」公式サイトを公開
～「撮る」を資産に。スポーツを、AI で映像資産へ。～



株式会社ジェリービーンズグループ（以下「当社」）は、連結子会社である株式会社ジェリービーンズマーケティングラボを運営主体とするスポーツ映像 DX サービス「STADIUM AI (JELLY BEANS AI SOLUTION)」を正式ローンチし、本日、公式サイトを公開いたしました。

「STADIUM AI」は、株式会社NTT Sportict（以下「NTT Sportict」）との業務提携のもと、AI カメラによるスポーツ映像の自動撮影・配信・分析を通じて、映像として残すことが難しかった試合や練習を、継続的に活用できる「映像資産」へ変えていくサービスです。公式サイトを公開を機に、スポーツチーム、大会・競技団体、施設・スクール、行政・自治体などからの導入相談を本格的に受け付けてまいります。

■「撮る」を、スポーツの新しい資産へ

「STADIUM AI」は、AI が競技の動きを捉え、カメラワークを自動化することで、撮影スタッフを配置することなく、本格的なスポーツ映像を記録できるサービスです。撮影した映像は、ライブ配信やアーカイブ配信に活用できるほか、AI による自動追尾やオートズーム、自動タグ付け、ハイライト生成などを通じて、試合の振り返りやチーム強化、スカウティングにもつなげることができます。

対応競技は、サッカー、バスケットボール、野球、バレーボールをはじめとする 16 競技。常設型と可搬型の機材を用意し、競技や施設、運用方法に合わせた映像環境を構築します。単に試合を「撮る」だけでなく、その映像を残し、届け、活かすことで、一つひとつのプレーを継続的な価値へ変えていきます。



■チームから地域まで、広がる活用シーン

スポーツチームでは、試合や練習の振り返り、選手育成、保護者やOBへの映像共有に。大会・競技団体では、複数会場の試合配信や視聴機会の拡大、競技映像の蓄積に。施設・スクールでは、映像を活用した指導や会員サービスの充実に活用できます。

さらに、行政・自治体との連携を通じて、スポーツ振興、施設の利活用、地域プロモーションなど、地域スポーツを起点とするDXにも展開してまいります。

 TEAMS スポーツチーム 練習・試合を無人で自動撮影・配信。映像分析による強化に加え、選手・保護者・OBへの視聴体験を提供。	 EVENTS 大会・協会 複数面・複数日程を効率配信。視聴課金・写真販売で運営を収益化し、大会映像を協会のPR資産に。	 FACILITIES 施設・スクール 常設導入で集客を強化。会員費上乘せ・有償撮影で継続収益と施設ブランド向上を両立。	 GOVERNMENT 行政・自治体「マチスポ」 映像化・情報発信・施設DXで、シティプロモーション・関係人口創出・大会/合宿誘致に貢献。
メディア・スポンサーへ、配信映像を広告媒体として提供しマッチング収益を創出			

■映像を届けるだけでなく、新たな収益機会の創出を目指す

「STADIUM AI」は、機材の導入・運用に加え、配信視聴、写真販売、広告・スポンサーマッチング、映像分析支援、施設への常設導入などを組み合わせ、**映像を継続的な収益につなげる仕組み**を目指しています。大会やチームが持つ試合映像をメディアとして活用し、地域企業やナショナルスポンサーとの接点をつくることで、**スポーツを支える新たな循環**を生み出します。

導入先ごとに異なる競技環境や運営課題に合わせ、撮影・配信から活用、収益化までを一体的に設計することが、本サービスの特徴です。**映像を一度きりの記録で終わらせず、ファンとのつながりやスポンサー価値、施設価値を高める「映像資産」**として育ててまいります。

A 機材導入・運用収益 撮影・配信・視聴課金・写真販売による直接収益。事業の現金を生む土台。	4 つの収益の柱 比重は $A \rightarrow B / C / D$ へ、単発収益からストック型へ。	C ソリューション機展開 導入支援・運用代行・映像分析支援（BREAKDOWN）等でLTVを最大化。
B 広告・スポンサーマッチング 配信映像の広告媒体化、地域・ナショナルスポンサー連携。ストック性が高くJBG最大の差別化領域。		D 施設常設モデル 施設・スクールへの常設導入による継続収益（会員費上乘せ・有償撮影・施設広告）。

■NTT Sportict との連携による提供体制

本サービスは、スポーツ映像配信の技術と実績を有する NTT Sportict が撮影・配信の技術基盤を担い、株式会社ジェリービーンズマーケティングラボが営業、運営、ブランディング、広告マッチング、メディアネットワークの活用を担う体制で提供します。

両社の強みを組み合わせることで、機材の導入だけにとどまらず、運用支援やコンテンツ活用まで、導入先に寄り添ったサービスを展開します。

■「JELLY BEANS AI SOLUTION」の中核サービスとして

「STADIUM AI」は、当社グループが展開する AI 関連サービス群「JELLY BEANS AI SOLUTION」の中核を担うサービスです。当社グループは、エッジ AI と生成 AI を軸に、スポーツ、エンターテインメント、地域 DX の領域で新たな AI ソリューションの提供を進めています。

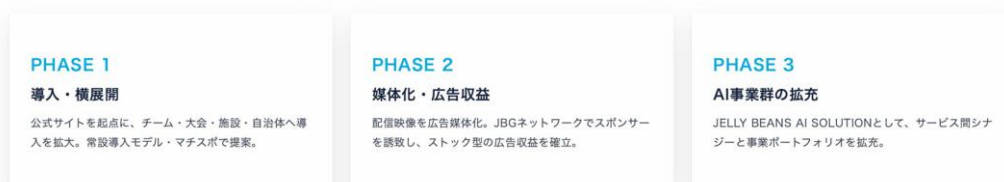
AI 音楽生成サービス「Photoroid Music」や画像認識プラットフォームなど、グループ内外の AI ソリューションとの連携も視野に入れ、映像、音楽、データ、メディアを横断するサービス展開を目指します。スポーツ映像を入口に、当社グループならではの事業シナジーを広げてまいります。



■正式ローンチから、次のステージへ

今後は、公式サイトを起点に導入相談を受け付け、スポーツチーム、大会・競技団体、スポーツ施設・スクール、行政・自治体への提案を進めます。導入実績と運用ノウハウを積み重ねながら、映像配信の高度化、広告・スポンサー連携、施設常設モデルの拡大を段階的に推進してまいります。

将来的には、「JELLY BEANS AI SOLUTION」の各サービスとの連携を深め、スポーツの感動をより多くの人へ届けるとともに、その一試合、その一瞬を未来へ残す、スポーツ映像の新たな価値創出を目指します。



本事業による2027年1月期の業績に与える影響は精査中です。今後、適時開示の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

■公式サイト・お問い合わせ

公式サイトでは、サービスの特長、対応競技、製品ラインナップ、活用シーン、料金、導入に関する情報を紹介しています。

導入をご検討のスポーツチーム、大会・競技団体、施設・スクール、行政・自治体の皆さまからのご相談を受け付けています。

公式サイト：<https://stadium-ai.com>



■今後の見通し

本事業による当社の 2027 年 1 月期の業績に与える影響は精査中です。今後、適時開示の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。



以上